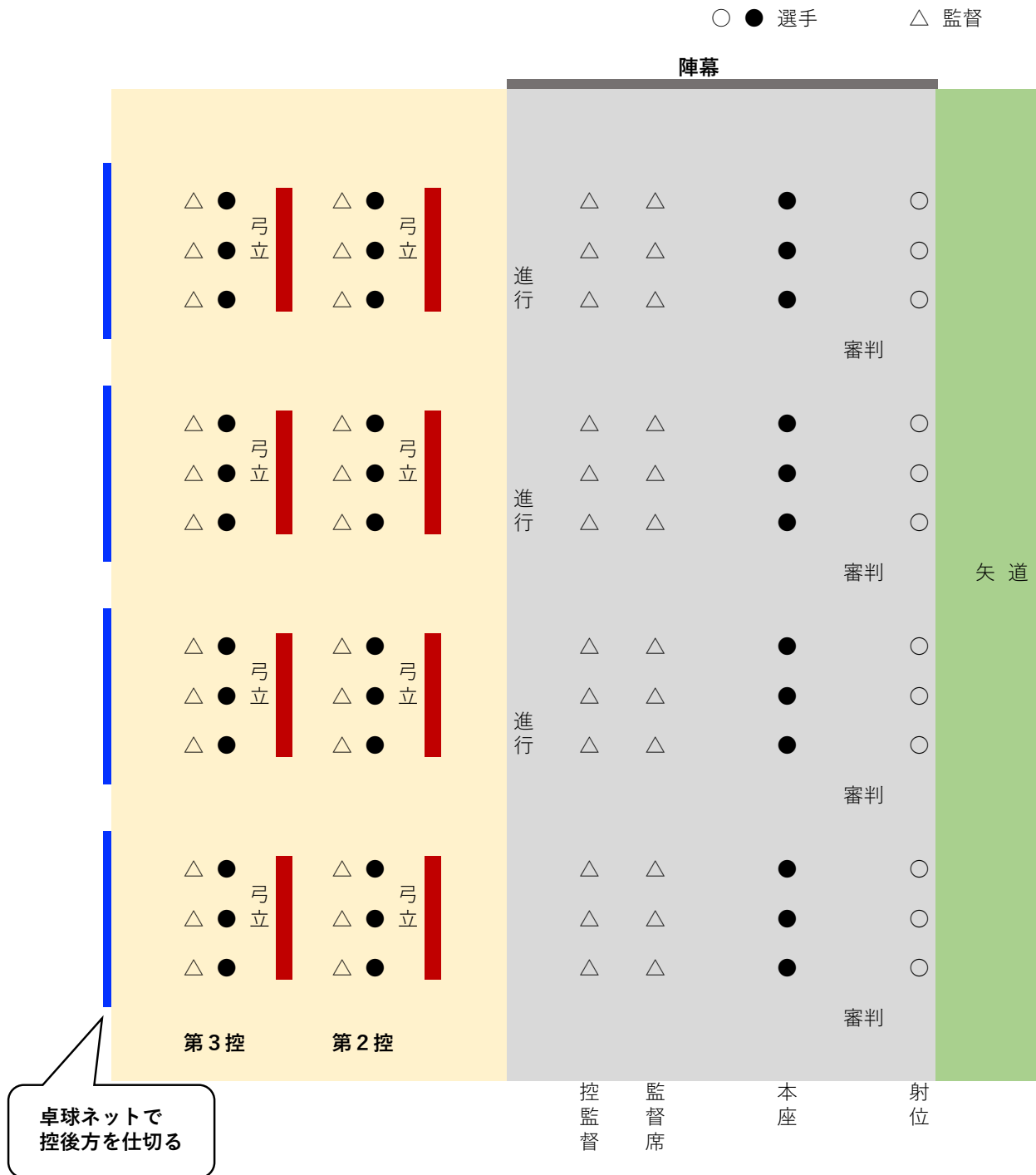


射場および控レイアウトについて

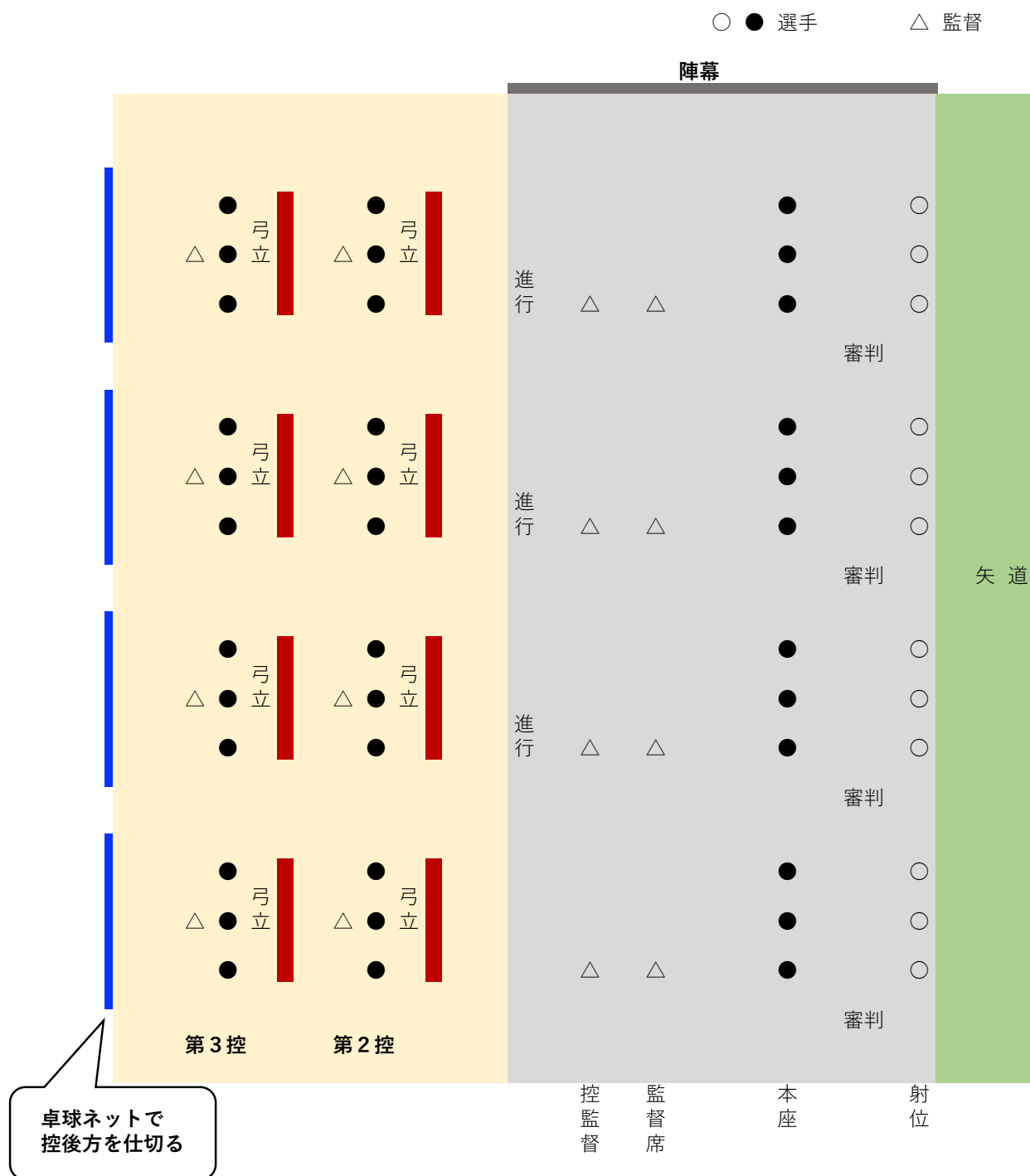
令和5年度全国高校総体以降、より競技性を高めるために、控から射場までのレイアウトおよび入退場を以下の方法で運営いたします。

1. 射場および控の基本レイアウト（個人競技）



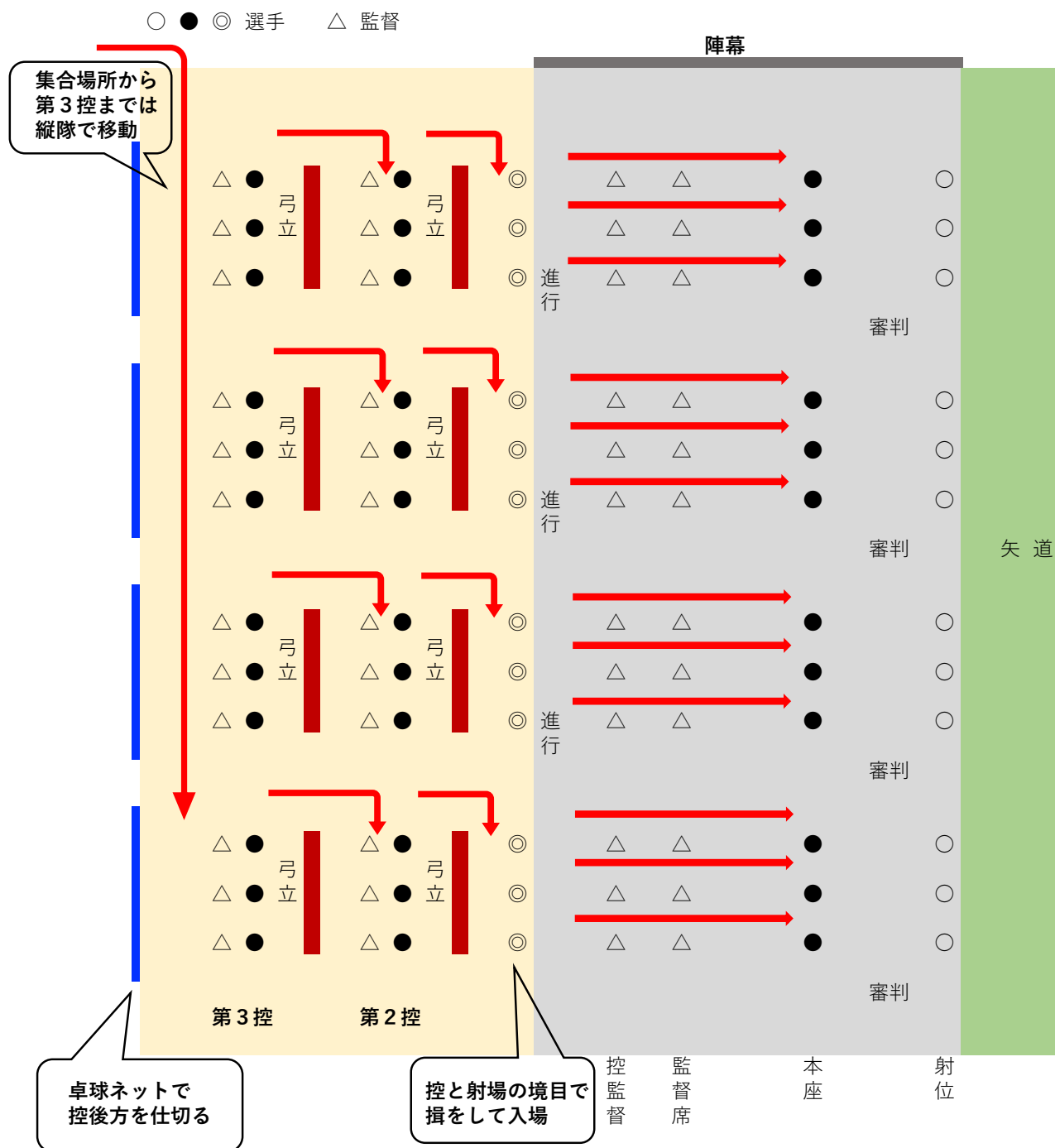
1. 射場と第2控の間および、第2控と第3控の間に陣幕を設置しない。
2. 各控の射場ごとに開口部を作る。
3. 第3控の後方は卓球ネットを設置し、入場通路と退場通路を分ける。
4. 射場内および控の監督席は、選手の後方に設置する。
※選手の横や、監督席の横に並べると、入場ラインの妨げになる。

2. 射場および控の基本レイアウト（団体競技）



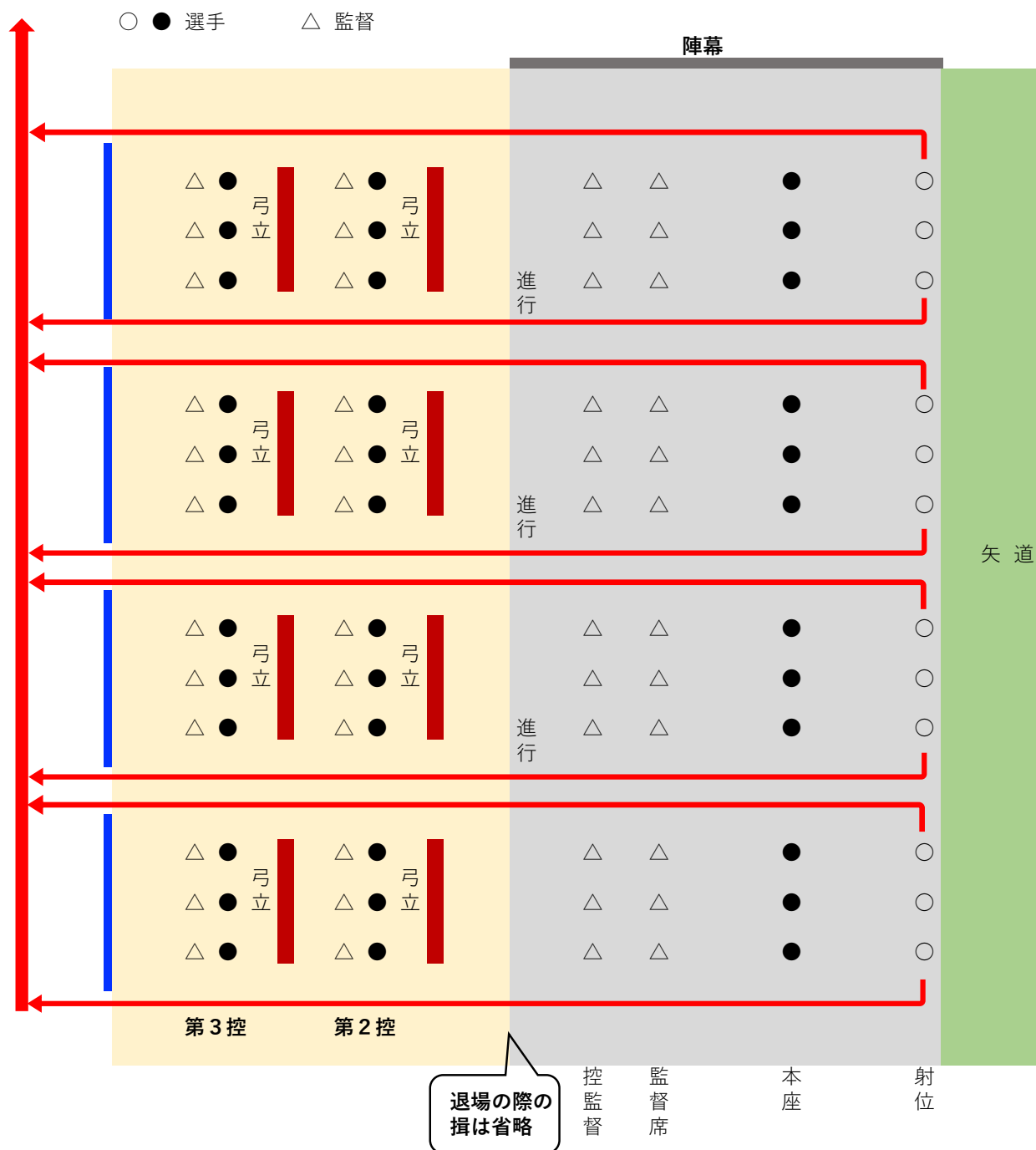
1. 射場と第2控の間および、第2控と第3控の間に陣幕を設置しない。
2. 各控の射場ごとに開口部を作る。
3. 第3控の後方は卓球ネットを設置し、入場通路と退場通路を分ける。
4. 射場内および控の監督席は、選手の後方に設置する。
※選手の横や、監督席の横に並べると、入場ラインの妨げになる。

3. 射場への入場方法（個人競技・団体競技）



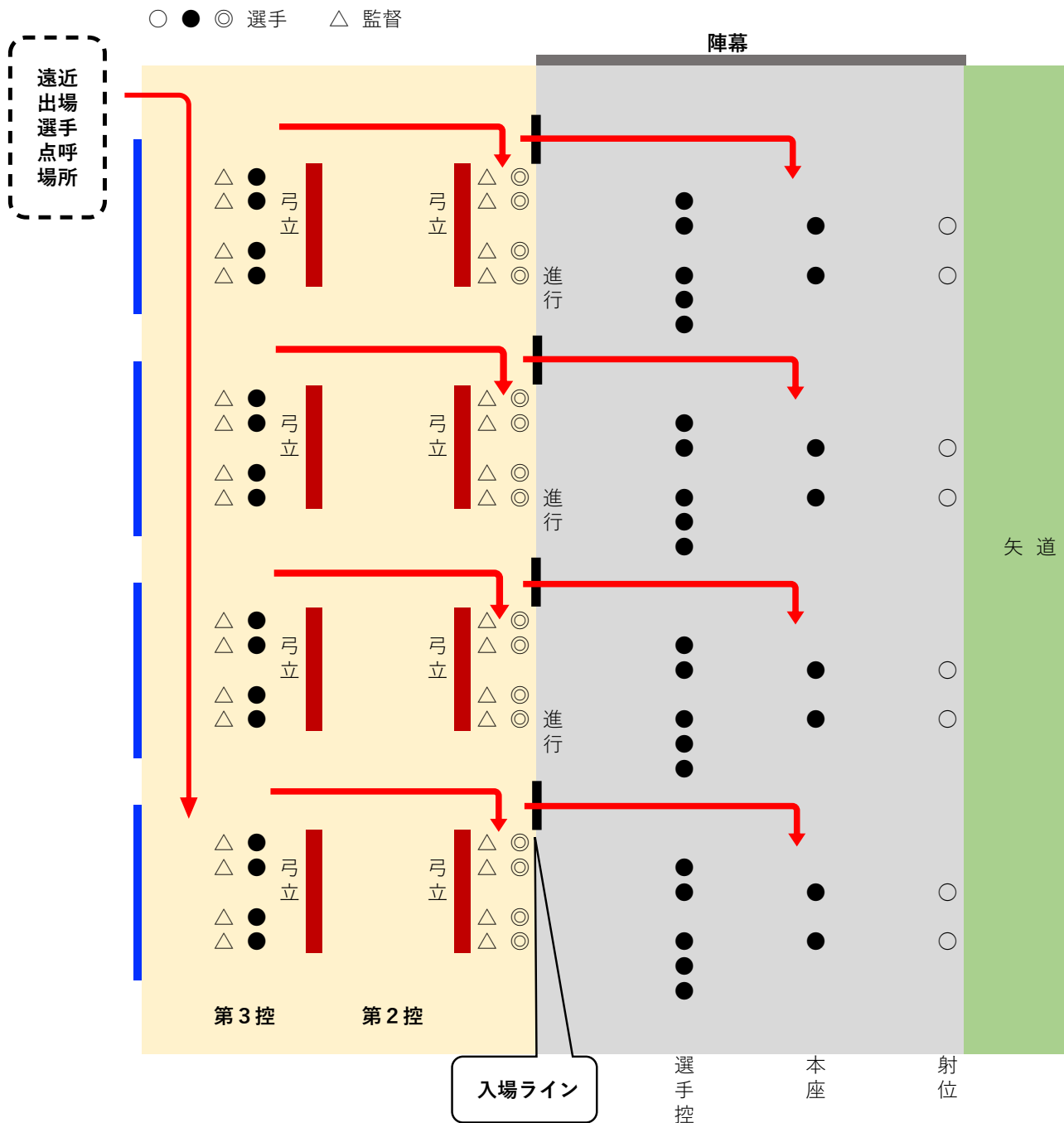
1. 集合場所から第3控までは縦隊で移動する。
2. 第3控から第2控への移動は射場ごとに移動する。
3. 第2控から本座へは監督席や控監督席の脇を抜けて移動する。
※第2控の弓立ての前で一度並び、射場の床に入る時に揖をし、執弓の姿勢で入場する。
4. 第2控、第3控では、選手は弓立に弓矢を置く。
※控ではぎり粉やふで粉の使用可能。ただし、あくまで「控」なので素引き等は行わず着席のこと。
※「必携 2022年発行」のP15の5をお読みください。
5. 替え弓を持参した場合は第3控で係員に伝える。退場時に第3控の所定の弓立てより回収する。

4. 射場からの退場方法（個人競技・団体競技）



1. 射位から本座までの退場方法は従来通り。
2. 本座からはさらにまっすぐ進み、第2控と射場の境目から抜けていく。（退場の揖は省略）
3. 第3控もまっすぐ抜け、卓球ネットの裏まで進んで右折し、全員1カ所の退場口から出る。
※アリーナ内への入場口と退場口が同じ場所なので、なるべく広がらずに速やかに退場してください。
4. 監督の退場方法も選手と同様。
※監督は的中が確定したら順次退場してください。（的前審判が手を挙げたら）
5. 矢返し場所がアリーナ内の退場口付近にあるため、なるべく監督が矢を持ち帰ってください。
※選手が矢返し場所に滞留することのないようにお願いします。

5. 遠近競射での入退場方法（個人競技）



1. 弓立て等の配置は変更しない。
2. 第3控における椅子の数や配置は、選手の人数に応じて変更する。
3. 第2控では椅子を設置せず、弓立ての前（射場側）に立ったまま待機する。
4. 遠近競射は射終わった選手の待機場所（選手控）と入場ラインの交錯を避けるため、射場ごとに入場口を設定し、「必携」3 競技運営細則 7（4）に準じる。
5. 監督は遠近競射を始める前に、全員第2控の弓立ての前に入り、立ったまま待機する。